

第1章

福山市の景観特性

- 1 景観とは
- 2 景観のとらえ方
- 3 福山市の景観特性
- 4 福山市の景観構造





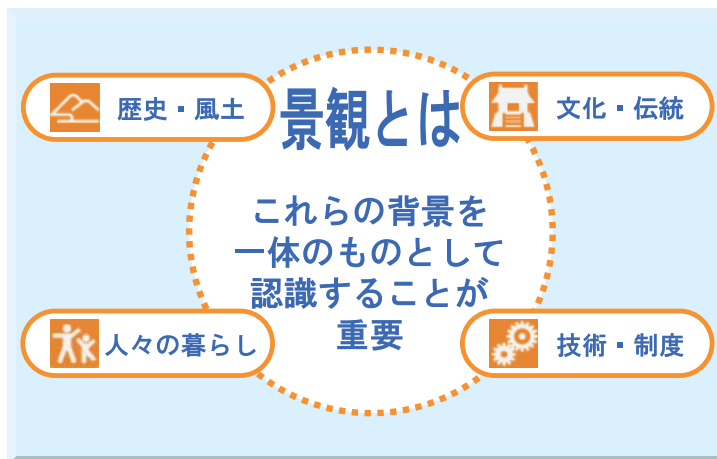
第1章 福山市の景観特性

1 景観とは

「景観」とは、目に映る景色や眺め、風景などに対して、それを見る人の印象や評価（視点）などが加えられたものであり、対象物とそれを見る人との関係から成り立つものです。

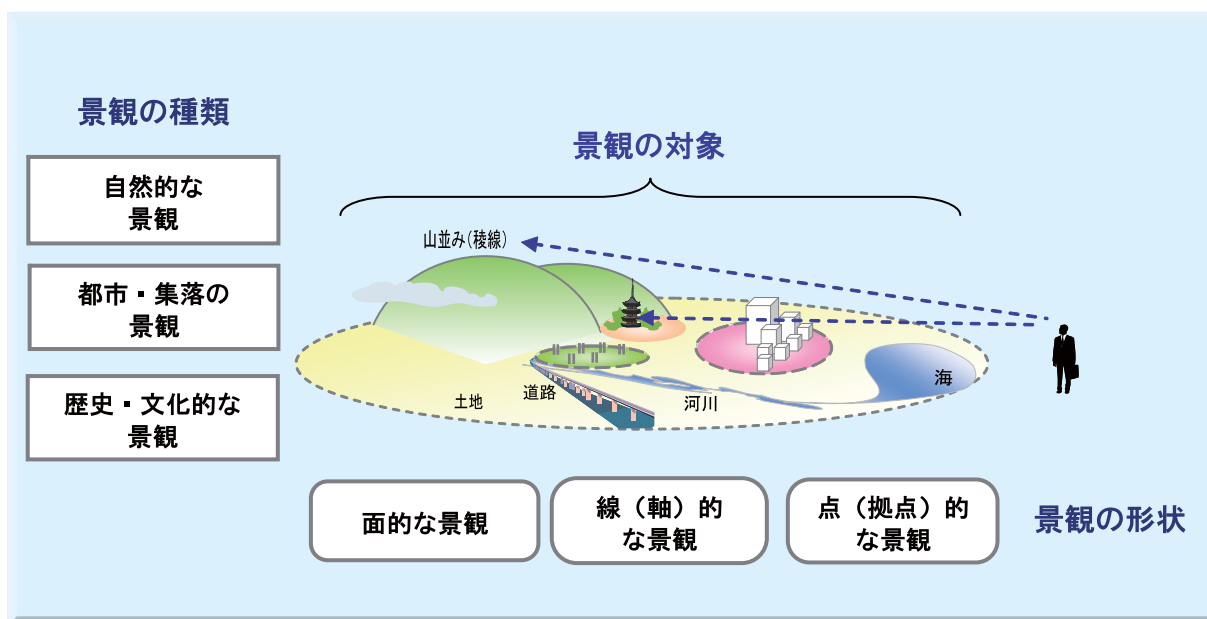
また、景観は、地域の歴史、地勢や生態系などの風土、地域で育まれてきた文化や伝統、人々の暮らしや経済活動、技術の進歩や法律制度など、様々な背景から形づく

られているものであることから、対象として見えているものだけでなく、それらの背景を一体のものとして認識することが重要です。



2 景観のとらえ方

この計画では、私たちの視界の中で多様な姿をみせている景観を、体系的に抽出して整理するために、「景観の種類」と「景観の形状」によって分類し、とらえることとします。





第1章 福山市の景観特性

(1) 景観の種類

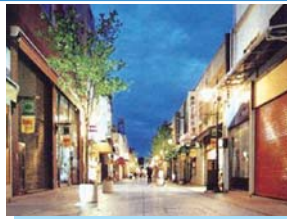
自然的な景観

山地や海、河川等の自然で構成される景観



都市・集落の景観

各種の都市施設や市街地、または農山漁村などで構成される景観



歴史・文化的な景観

歴史的まち並み、歴史的遺構などで構成される景観



(2) 景観の形状

面的な景観

土地や地形とその利用形態によって、面状に一定のまとまりや広がりをもって形成されている景観



線（軸）的な景観

道路や河川、海岸線や山々の稜線など、線状につながりをもって形成されている景観



点（拠点）的な景観

歴史的建造物、ランドマークとなる施設や樹木などを中心にスポット的に形成されている景観





3 福山市の景観特性

景観の種類と形状を踏まえ、本市における自然的・地形的条件や景観資源の分布状況、地域の生活文化などからなる、魅力的な景観や特徴的な景観を、景観特性として整理します。

(1) 自然的な景観の特性

1) 面的な景観

●標高の高い山地部

市域の北部及び南西部には、京ノ上山(611m)や蛇円山(546m)、熊ヶ峰(438m)をはじめ、中国山地に連なる山々が広がっています。



●まとまりのある農地

市域の北部を中心に、芦田川や高屋川などの河川沿いには、まとまりのある肥沃な農地が広がっています。



●瀬戸内海の穏やかな海面と島々

市域の南部には、瀬戸内海の穏やかな海面に浮かぶ島々の風光明媚な姿が広がっています。





2) 線(軸)的な景観

●山々の稜線となだらかな傾斜地

山々の稜線と山辺のなだらかな傾斜地の眺望は、道路や河川、まち並みなどとともに、身近で親しみのある景観を形づくっています。



彦山の稜線(水呑)



観音山の稜線(神辺)

●山々を縫って流れる河川や水路

山々を縫って市域を流れる芦田川をはじめとする河川は、古くから市民の生活を支え、文化を育んでいます。また、身近な水路などでも様々な生物が生息するなど、豊かな自然がみられます。



芦田川



道三川

●瀬戸内海国立公園に指定されている海岸線

市域の南部には、瀬戸内海国立公園に指定された穏やかな海、多彩な表情をみせる美しい自然海岸や海浜が残されています。



鷺が巣(内海)



横山海岸(内海)





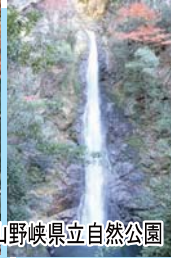
3) 点（拠点）的な景観

●豊かな自然を携えた自然公園

山野峡県立自然公園や瀬戸内海国立公園などの四季折々の景色は、多くの人々に安らぎと潤いを与えています。



山野峡県立自然公園



仙酔層と岩脈



藤尾の滝(新市)



八丈岩(神辺)

●地域に親しまれている樹木

市域の各地には、地域のシンボルとして市民や来訪者に親しまれる樹木があります。これらの樹木は、周辺景観と一体となった素晴らしい景観を形づくるものとして大切にされています。



福泉坊のしだれ桜(沼隈)



福山城の桜・木々



御野小学校のケヤキ



菅町のしだれ桜



センダンの木(沼隈)



宜山小学校のメタセコイア



紫雲荘の桜(広瀬)





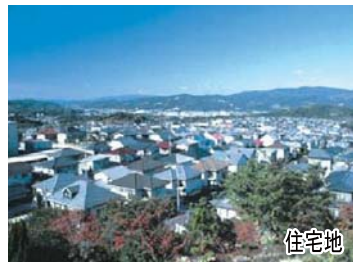
第1章 福山市の景観特性

(2) 都市・集落の景観の特性

1) 面的な景観

●土地利用に応じたまとまりのある市街地

本市は、戦後の復興、高度経済成長期とともに工業・産業都市として著しい発展を遂げてきました。今日では、中心部の市街地をはじめ、土地区画整理事業によって整備された周辺部の市街地など、まとまりのある住宅地が形成されています。また、福山駅周辺を中心とした商業地や、大規模製鉄所の工場群をはじめとした工業地なども形成されています。



●落ち着いた集落地

市域の北部や南西部を中心に広がる集落地では、生け垣や石積み、蔵づくりや茅葺きの建築物など、かつての農村集落の趣が残されています。また、穏やかな海面と一体となった沿岸部の集落では、漁業や海上交易の寄港地として栄えた面影も残されています。



福山市景観計画

はじめに

第1章

第2章

第3章

資料編



2) 線(軸)的な景観

●にぎわいをつくる商店街

市街地の商店街では、修景等により、にぎわいを感じさせるまち並み景観が形成されています。



久松通り商店街



北浜通り商店街

●幹線道路の沿道に展開される商業・サービス施設

国道2号や国道182号、国道486号など、市街地を通る幹線道路の沿道に展開される多様な商業・サービス施設は、活力ある景観を生み出しています。



国道2号沿道



国道486号沿道

●みどり豊かに修景された道路空間

福山駅前大通り((都)福山駅箕島線)をはじめとする市内の幹線道路や生活と密接に係わるコミュニティ道路では、街路樹などにより潤いのある空間を演出しています。



桜町線(東桜町)



判屋線(松永)

●交流を支える鉄道や道路

JR山陽本線やJR福塩線などの鉄道、海岸沿いの幹線道路など、生活基盤とその背景が調和した景観は、市民だけでなく、訪れる人々にも親しまれています。



JR山陽本線



内海大橋





第1章 福山市の景観特性

3) 点(拠点)的な景観

●ランドマークとなる建築物

多くの人々が集う公共施設などのシンボル性が高い建築物は、地域のランドマークとなっています。



●にぎわいの核となる駅周辺

市役所やリーデンローズ(ふくやま芸術文化ホール)、ふくやま美術館、まなびの館ローズコム(福山市中央図書館、福山市生涯学習プラザ)などが立地する福山駅周辺は、本市を訪れる人々を迎える都市の玄関口として、風格ある空間を演出しています。



●潤い豊かな公園

市街地の大規模な公園をはじめ、各地域に点在する小規模な公園やポケットパークは、市民の生活に密着しており、日々の生活に憩いと安らぎを与える大切な空間となっています。



●自然や歴史と密接に結びついた地域固有の伝統文化やイベント

自然環境やまち並みだけでなく、地域ごとの祭事・イベントなども、人々の暮らしの中で育まれ形づくられてきた固有の景観といえます。



福山市景観計画

はじめに

第1章

第2章

第3章

資料編



(3) 歴史・文化的な景観の特性

1) 面的な景観

●歴史や風土を伝える遺跡・史跡群

市域の各地には、古代から現代まで続く、長い郷土の歴史や文化を伝える貴重な遺跡・史跡群があります。特に市域の北部には、国史跡で県内最大級の前方後円墳である二子塚古墳をはじめ、国分寺西側丘陵に広がる迫山古墳群など、多くの遺跡・史跡群がみられます。



石籠山古墳群(加茂)



二子塚古墳(駅家)



亀山弥生遺跡(神辺)



宮の前廃寺跡(蔵王)

●暮らしのなごりをとどめる歴史的なまち並み

市域の各地には、伝統的建造物群保存地区に指定している「鞆のまち並み」や、西国街道の宿場町のなごりのある「神辺のまち並み」、かつての港町をしるのばせる「内海のまち並み」など、それぞれの時代に営まれた地域固有の暮らしのなごりをとどめる歴史的なまち並みが残されています。



鞆のまち並み



神辺のまち並み



内海のまち並み



横尾のまち並み

2) 線(軸)的な景観

●往時の風情を残す街道筋

古代山陽道や中世以降の西国街道など、文化や社会の交流を支えた街道筋には、今でも石碑や辻堂など、往時の風情が残されています。



一里塚跡(神辺)



辻堂(加茂)





第1章 福山市の景観特性

3) 点(拠点)的な景観

●歴史を物語る貴重な遺産

市域の各地には、古代、中世から江戸時代、そして現代へと続く長い歴史の中で、当時の隆盛と繁栄を今に伝える福山城や明王院、鞆の浦や神辺地区に残る建造物など、貴重な歴史遺産が残されています。



福山城



明王院



神辺本陣



福禅寺 対潮楼

●寺院・神社や歴史的建造物

市域の各地には、地域で大切にされてきた寺院や神社など、長い歴史の中で受け継がれ、古いまちの面影や生活様式をうかがわせる歴史的建造物などが残されています。



吉備津神社



光照寺(沼隈)

さらに当時の生業(農業、商業など)や生活の様子がしのばれる民家や蔵などが今でも活用され、地域の生活と密接に係わる身近な歴史資源として残されています。



信岡家住宅(新市)



福山誠之館高等学校記念館

●福山の発展を象徴する近代の遺産等

市域の各地には、本市が近代、明治期以降に工業都市として姿を変え、備後地域の中心都市として発展してきたことなどを象徴する建造物が今も残されています。



日本はきもの博物館・日本郷土玩具博物館



福寿会館



金江小学校教育資料館



村上家住宅(今津)



第1章 福山市の景観特性

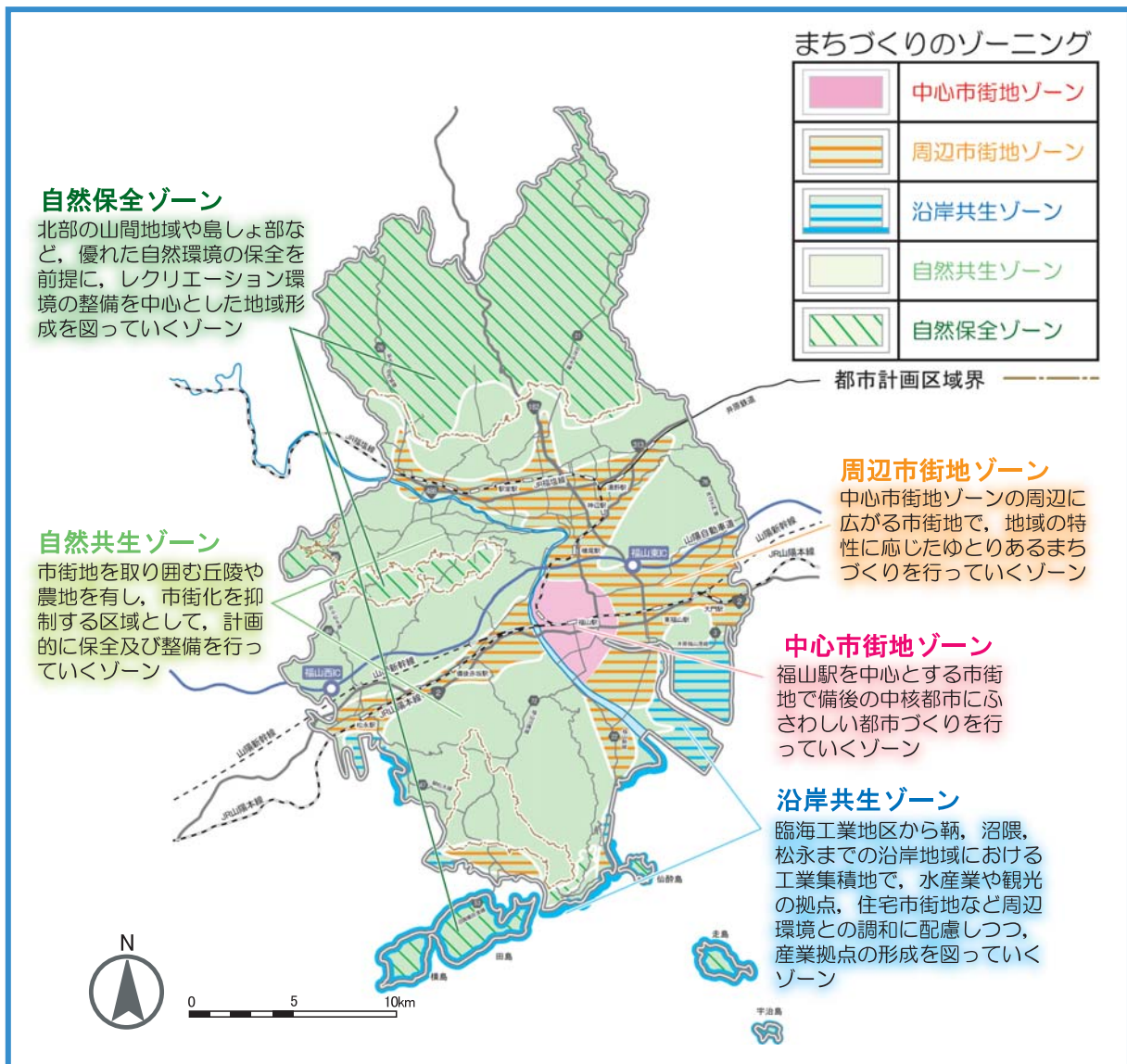
4 福山市の景観構造

景観づくりを進める上では、だれもが共通に思い浮かべることができる、そのまちの良好な景観のイメージをつくるのが大切です。

そのまちのイメージを明確にするために、景観特性（福山らしい魅力的な景観）を踏まえた、主な景観の構造を整理します。

(1) 福山らしい魅力的な景観を支える下地

景観は、土地や地形のほか、人々の営みを反映した土地利用の特性などを背景として形成されています。そこで、都市マスタープランに示した「まちづくりのゾーニング」を「福山らしい魅力的な景観を支える下地」としてとらえます。





(2) 福山らしい魅力的な景観の骨格

まちのイメージをより明確にするため、福山らしい魅力的な景観を構成する骨格を「みどり」、「水」、「にぎわいの核と軸」、「心に残る眺め」の4つの要素によって整理します。

● みどり

本市の地形は、蛇円山や石槌山などの山並みのみどりを背景にして、海側に開く形をなしています。

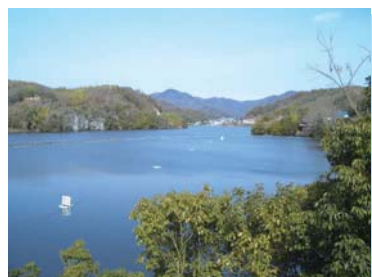
また、起伏に富んだ山々や山辺を縁取る連続した斜面地、里山などは、四季折々に表情を変え、潤いや季節を感じさせてくれるものであり、景観を構成する骨格といえます。



● 水

広大な平野や道路・鉄道網など、本市を形づくるものの多くは、市域を貫く一級河川芦田川の水系に沿って発展してきました。また、小さな河川やため池も多く、これらは、周辺の市街地に潤いを与えてくれます。

その他、穏やかな瀬戸内の海面とそこに浮かぶ大小の島々が織り成す多島美、美しい海岸線なども、ふるさとの姿を感じさせてくれるものであり、景観を構成する骨格といえます。





第1章 福山市の景観特性

● にぎわいの核と軸

市中心部では、福山駅南側を中心に商業・業務施設が広がり、快適な都市の生活を演出しています。一方で、本市のシンボルである福山城とその周辺のみどりやばら公園・緑町公園などのばらが咲き誇る空間は、人々の憩いの場となっています。

こうしたにぎわいの核は、市民だけでなく訪れる人々にも、まちの活気と福山らしさを伝えるものであり、景観を構成する骨格といえます。

さらに、地域生活を支える拠点となる地区や、これら拠点を結ぶ市街地を走る幹線道路も、商業・サービス施設の立地による活力や、街路樹などの修景による潤いなどを感じさせてくれるものであり、景観を構成する骨格といえます。



● 心に残る眺め

自然や歴史・文化、生活を感じさせてくれる風景などが、心に残る眺めの大きな要素となります。

アンケート調査において、市民が「福山の心に残る景観や素晴らしい眺め」として掲げた福山城や瀬の浦、グリーンライン（一般県道後山公園洗谷線）、蔵王山山頂、内海大橋などは、本市の自然や歴史・文化、生活を象徴しており、安らぎを与えてくれます。こうした眺めは人々の心の中に息づいているものであり、景観を構成する骨格といえます。

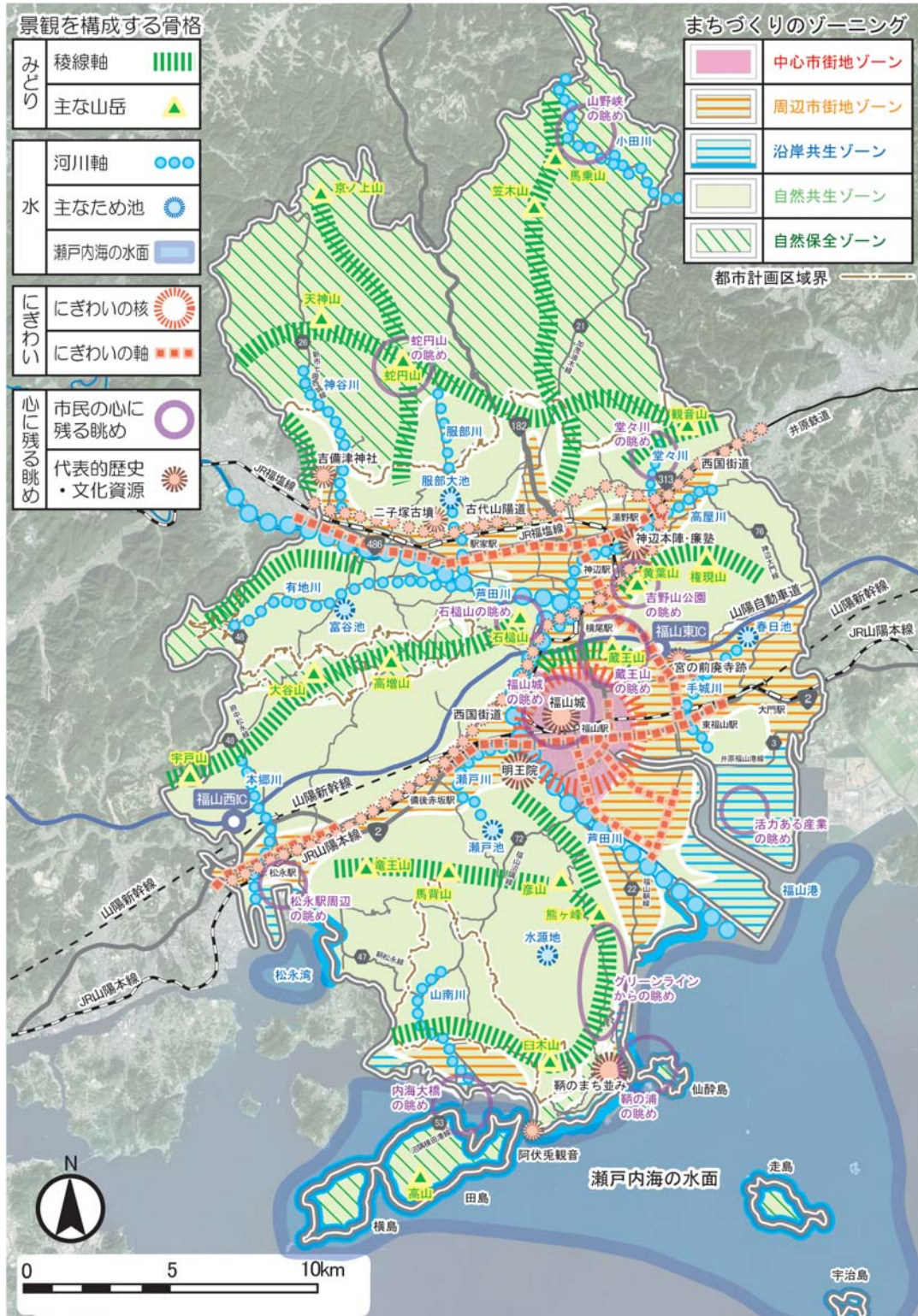




第1章 福山市の景観特性

(3) 景観構造図

「まちづくりのゾーニング」を福山らしい魅力的な景観を支える下地とし、その上に「景観を構成する骨格」を重ね合わせ、本市の景観イメージを構造図として示します。



景観構造図

福山市景観計画

はじめに

第1章

第2章

第3章

資料編